



青空いっぱい

あ 明日が楽しい学校
 い 命を大切にできる学校
 う られしい自分・できる自分に出会える学校
 え 笑顔とあいさつで明るい学校
 お おもしろい授業で学べる学校

臨場感たっぷりの文化祭

9月28日(土)に文化祭を行いました。

今年は残暑がとても厳しく、天気予報では、文化祭当日も気温が30度を超えるとのことでした。そこで舞台発表の会場を体育館から多目的ホールに急きょ変更しました。

会場の変更に伴い、子供たちの発表への影響を心配しましたが、文化祭当日は、小学部、中学部ともに、これまでの練習の成果を存分に発揮して、堂々と発表することができました。

高等部バザーでは、作業学習で農芸班が育てた野菜や苗等、手工芸班が制作したカレンダーやお手紙袋等、陶芸班が制作した器や皿等を販売しました。バザースタート前からお客様の列ができ、数多く購入いただいたことは、それぞれの役割に一所懸命に取り組んだ生徒にとっては、大きな励みになりました。

さて、今年は舞台発表の会場が多目的ホールだったため、体育館での発表よりも舞台と観客席の距離がなく、保護者の皆様もより臨場感を感じられたのではないのでしょうか。これは

子供たちの発表だけでなく、教職員の指導や支援についても同様に臨場感を感じられたことと思います。

共通していたのは「子供たちを信じて任せる」ということだったように思います。特別支援教育に携わる私たち教職員には、「子供たちが自ら取り組むのをいかに待てるか」という「待つ姿勢」、そして、子供たちの取組を見ながら「必要な指導支援を見極め、どのタイミングで行うか」という力が求められます。教職員の姿からこれらのことを感じ取っていただけたのであれば幸いですし、そうでなければ、さらに研修をしていかなければならないと思っています。

文化祭や運動会という大きな行事は、子供たちの一年間の育ちを感じる機会となります。これからもお子さんの育ちを保護者の皆様と一緒に感じ、共有していければと思っています。

最後になりますが、舞台発表会場での入替やオンライン参観への御理解と御協力、そして、バザーでのたくさんのお買い上げに心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



小発表のエンディング



プログラム係



中発表「長崎バスについて」



中発表「路面電車について」



中発表「船について」



高バザー「農芸班」



高バザー「手工芸班」



高バザー「陶芸班」



【学校経営目標】

⑤ 児童生徒が主体となり光輝く教育活動を創造し実践する。

【今年度の努力目標】 経営目標⑤について

・児童生徒の発想や思いに基づいた教育活動、児童生徒の主体的な運営を目指した生徒会、集会活動、学校行事を推進する。

最後まで全力で走りました！！

10月5日(土)、長崎県特別支援学校高等部陸上競技大会が開催されました。本校から高等部3年生3名が出場。種目は男子100m走、女子100m走、男子200m走。この大会は県障害者スポーツ協会の強化練習も兼ねているため、世界大会や全国大会に出場する選手と同じ組で走る生徒もいました。「速い人と走って正直驚いたけど、終わってみると楽しかった」と語る生徒の表情は清々しく感じられました。